



2022年7月14日

各位

会社名 アーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸山 雄平
(コード番号：6085 東証グロース)
問合せ先 取締役 管理本部長 山口 裕司
(TEL. 06-6363-5701)

展示場の解約に伴う特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第2四半期連結会計期間（2022年7月1日～2022年9月30日）におきまして、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社は、本日開催の取締役会において、当社の展示場である ASJ YOKOHAMA CELL（住所：横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー31階）及び ASJ Yokohama Satellite（住所：横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークプラザ4階）の定期建物賃貸借契約を解約することを決議いたしました。これに伴って発生する原状回復費用等の履行差額を特別損失として15百万円計上する見込みであります。

2. 展示場解約の背景・目的

2014年4月、大阪に続く常設展示場として横浜ランドマークタワー31階に ASJ YOKOHAMA CELL、2019年5月にはランドマークプラザ4階に ASJ Yokohama Satellite を開設し、以来、建築家と顧客が気軽に住宅相談を行うことができる展示場及びイベント会場として利用してまいりました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多くの人が集まるイベント自粛の影響もあり、同展示場を休館せざるを得ない状況も度々発生しておりました。

現在、当社は経費削減に積極的に取り組んでいる中、営業拠点である建築家情報空間 CELL の運営に関して見直した結果、ASJ YOKOHAMA CELL と ASJ Yokohama Satellite の2拠点につきましては、賃貸借契約を解約することといたしました。

今後につきましては、コロナ禍、首都圏では多くの企業においてリモートワークが普及、在宅時間が長期化していることから郊外への戸建住宅ニーズが高まってきており、これらの層を取り込むため、地域密着による拠点を総合住宅展示場ハウスクエア横浜（横浜市都筑区）と湘南地区（鎌倉市稲村ヶ崎）に今夏、新たにサテライトセルを開設し営業開始することといたしました。

3. 今後の見通し

特別損失を計上することで親会社株主に帰属する当期純利益に影響がありますが、業績への影響は現在精査中であり、今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。なお、一時的に特別損失を計上するものの、展示場解約に伴って、賃借料等の減少が見込まれることから、来期以降の業績改善に寄与するものと考えております。

以上

(参考) 当期連結業績予想（2022年5月13日公表分）及び前期実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想（2023年3月期）	1,166	123	120	86
前期実績（2022年3月期）	737	△260	△318	△348

(注) 本資料に掲載されている将来の見通しに関する事項については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。